

2023年10月25日

2023年 冬期スケジュール 国際定期便は週 1,309 便

～国際旅客便 19年比 77%の回復、中国方面を除くと19年レベルまで回復～

関西エアポート株式会社は、国際定期便の2023年冬期スケジュールについて、週1,309便（19年比^{*1}84%）を見込んでいます（3月ピーク時点）。その内、国際旅客便数は週1,086便（19年比77%）、国際貨物便数は週223便で冬期スケジュールとして過去2番目の便数となっています。2023年4月の日本政府による水際措置の終了及び同年5月に日本国内における新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが5類に引き下げられたこと等により、特に東アジア方面や東南アジア方面における国際旅客便の回復が進み、また、引き続き好調な国際貨物便に支えられました。

国際旅客便については、韓国方面は週344便（19年比148%^{*2}）、東南アジア方面は週168便（19年比85%）、香港・マカオ方面は週133便（19年比106%）と、これらの方面が回復を牽引しています。また、中国方面に関しても、2023年夏期スケジュール以降、便数も徐々に回復傾向にあり、週253便（19年比42%）を見込んでいます。

長距離路線については、中東方面において、10月2日から新規就航したエティハド航空（EY）（アブダビ線 週5便）が引き続き運航するほか、カタール航空（QR）がドーハ線を約8年ぶりに開設し週7便運航すること等により、方面全体で週19便（19年比271%）を見込んでいます。ヨーロッパ方面においては、ターキッシュ エアラインズ（TK）がイスタンブール線を約7年ぶりに開設し週4便運航します。また、オセアニア方面においては、ジェットスター航空（JQ）がブリスベン線を約15年ぶりに開設し週4便運航します。

なお、国際旅客便におけるLCC便数は週492便（LCC割合は45%）と19年冬期実績（459便（ピーク時））を上回る便数規模となっており、FSCより先行して回復が進んでいます。

国内旅客便については、3空港合計の1日あたりの便数は287便と19年冬期実績（291便（ピーク時））と同水準となります。

^{*1} 2019年冬期スケジュール実績との比較

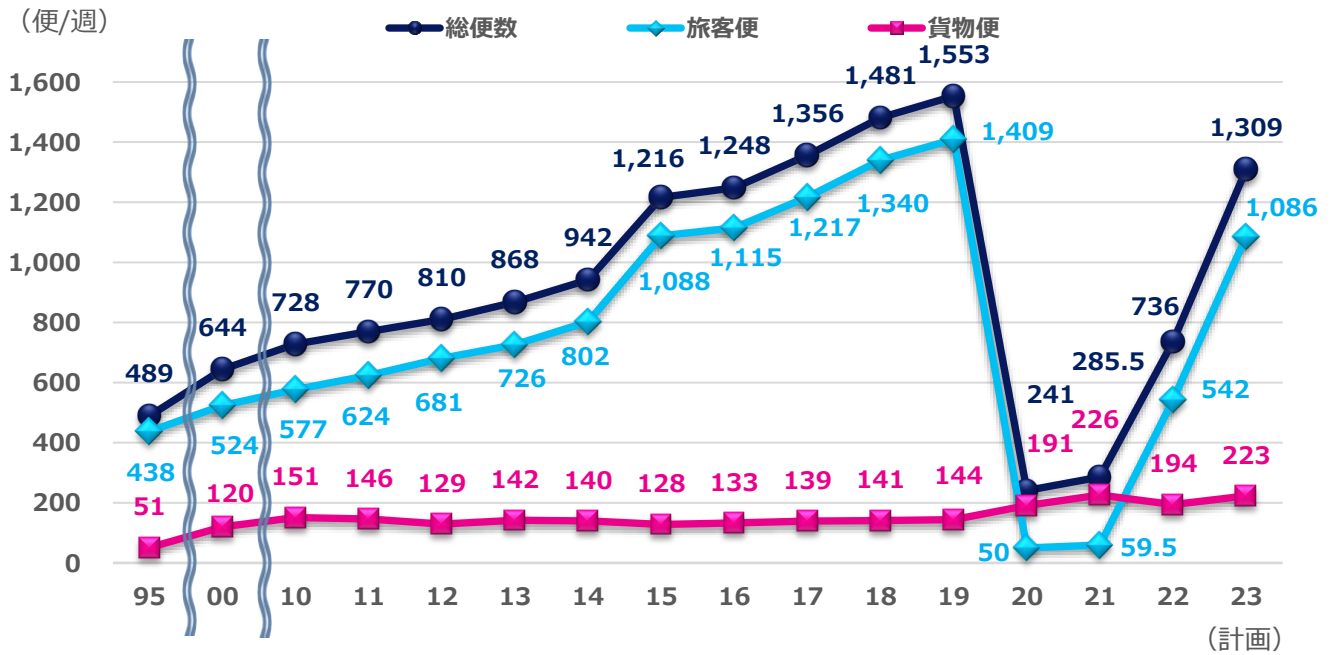
^{*2} 2019年冬期スケジュール実績は外交問題の影響により韓国方面の便数が落ち込んでいたことから19年比は高い水準となっている。（外交問題の影響を受ける前の2019年夏期スケジュール実績と比較した場合の19年比は99%。）

【報道関係の方からのお問い合わせ先】

関西エアポート株式会社
グループコーポレートコミュニケーション部 パブリックリレーション
Tel : 072-455-2201

国際定期便 就航便数の推移

冬期スケジュール



◇方面別便数内訳 (国際定期旅客便)

方面	19夏 (都市数)		19冬 (都市数)		21夏 (都市数)		21冬 (都市数)		22夏 (都市数)		22冬 (都市数)		23夏** (都市数)		23冬計画 (都市数)		構成比
	便数	都市数	便数	都市数	便数	都市数	便数	都市数	便数	都市数	便数	都市数	便数	都市数	便数	都市数	
韓国	348	(6)	232	(4)	5	(1)	7	(1)	88	(2)	239	(4)	318	(5)	344	(6)	32%
中国	494	(34)	600	(37)	1	(1)	1	(1)	6	(6)	8	(6)	216	(18)	253	(18)	23%
香港・マカオ	124	(2)	125	(2)	1.5	(1)	1	(1)	27	(1)	71	(1)	108	(2)	133	(2)	12%
台湾	135	(3)	134	(3)	9	(1)	10	(1)	27	(1)	79	(2)	112	(2)	110	(2)	10%
東南アジア	197	(11)	198	(11)	17.5	(3)	22.5	(3)	62	(6)	113	(7)	150	(7)	168	(7)	15%
北米	54	(5)	40	(3)	1.5	(2)	2.5	(3)	8.5	(2)	14	(3)	26	(4)	24	(3)	2%
うちハワイ	28	(1)	28	(1)	1	(1)	1	(1)	7	(1)	8	(1)	11	(1)	12	(1)	
欧州	35	(5)	30	(5)	10	(3)	10.5	(4)	5	(2)	5	(2)	12	(4)	16	(5)	1%
オセアニア・グアム	32	(4)	40	(5)	0	(0)	0	(0)	5	(2)	6	(2)	13	(3)	19	(3)	2%
その他*	14	(5)	10	(3)	4	(1)	5	(1)	6	(1)	7	(1)	12	(2)	19	(3)	2%
合計	1,433	(75)	1,409	(73)	49.5	(13)	59.5	(15)	234.5	(23)	542	(28)	967	(47)	1,086	(49)	100%
本邦社	3社		4社		1社		2社		2社		2社		3社		3社		
外航社	60社		60社		15社		16社		33社		39社		54社		57社		
運航会社	63社		64社		16社		18社		35社		41社		57社		60社		

* その他方面には、中東、インド、ネパール、極東アジアを含む。

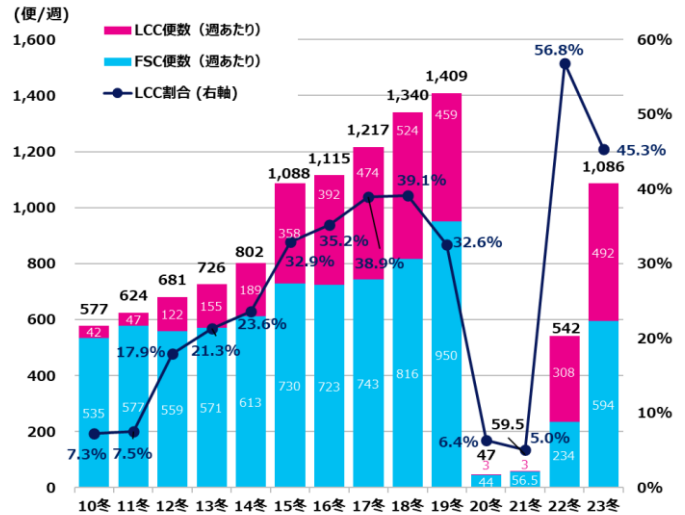
** ピーク時における実績及び計画便数。23夏は直近2023年10月8日～10月14日における実績便数

国際定期旅客便における LCC の概況及び方面別便数

◇国際線 LCC 内訳：21 社 23 都市

航空会社	路線	便数/週
ピーチ・アビエーション (計91便)	ソウル (仁川)	28
	香港	21
	台北	21
	高雄	7
	バンコク (スワンナプーム)	7
	上海	7
チェジュ航空 (計51便)	ソウル (仁川)	21
	ソウル (金浦)	14
	釜山	14
	務安	2
エア부산 (計42便)	釜山	21
	ソウル (仁川)	21
ジンエアー (計41便)	ソウル (仁川)	27
	釜山	14
ティーウェイ航空 (計56便)	ソウル (仁川)	21
	大邱	14
	済州	7
	釜山	7
	清州	7
エアソウル	ソウル (仁川)	21
イースター航空	ソウル (仁川)	14
エアOK	清州	14
春秋航空 (計29便)	上海	21
	大連	4
	寧波	3
	瀋陽	1
九元航空	広州	3
香港エクスプレス	香港	35
タイガーエア台湾 (計9便)	台北	7
	高雄	2
セブパシフィック航空	マニラ	7
フィリピン・エアアジア	マニラ	7
ベトジェットエア (計21便)	ハノイ	14
	ホーチミン	7
タイ・エアアジアX	バンコク (スワンナプーム)	10
タイバトジェット (計11便)	バンコク (スワンナプーム) (台北経由)	7
	チェンマイ	4
エアアジアX	クアラルンプール	7
スクート	シンガポール	7
ジェットスターアジア	シンガポール (マニラ経由)	7
ジェットスター航空 (計9便)	ケアンズ	5
	ブリスベン	4
計		492

◇国際線定期旅客便における LCC 割合の推移



2023 年冬期スケジュールでは、LCC 比率は 45.3% に達し、2022 年冬期スケジュールに次ぐ比率の高さとなっている。前冬期比では、各地域の FSC 復便に伴い比率は減少。

国際定期便 航空会社別就航便数

国・地域名	航空会社	2019年冬期 10/27 ~ 3/28 2020年1月 (ピーク)			2023年夏期 3/26 ~ 10/28 2023年10月 (ピーク)			2023年冬期 10/29 ~ 3/30 2024年3月 (ピーク)		
		実績			実績			計画		
		旅客便	貨物便	合計	旅客便	貨物便	合計	旅客便	貨物便	合計
日本	JL 日本航空	42		42	18		18	20		20
	NH 全日本空輸	49	5	54	8		8	11		11
	MM ビーチ・アビエーション	88		88	77		77	91		91
	GK ジェットスター・ジャパン	4		4						
アメリカ	UA ユナイテッド航空	15		15	14		14	17		17
	DL テルハ航空	7		7						
	HA ハワイアン航空	7		7	7		7	7		7
	FX フェデラル エクスプレス		56	56		79	79		97	97
カナダ	5X ユナイテッド パーセル サービス		16	16		16	16		22	22
	AC エア・カナダ				4		4			
	BA プリティッシュ・エアウェイズ	3		3						
	LH ルフトハンザ ドイツ航空	7		7	3		3	3		3
ドイツ	GEC ルフトハンザ・カーゴ		2	2		4	4			
	3S エアロジック								3	3
	KL K L Mオランダ航空	7		7	3		3	3		3
	AF エールフランス航空	6		6	3		3	3		3
フランス	SB エア カレドニア インターナショナル	2		2						
	AY フィンランド航空	7		7	3		3	3		3
フィンランド	AY フィンランド航空	7		7	3		3	3		3
	TK ターキッシュ エアラインズ							4		4
アラブ首長国連邦	EK エミレーツ航空	7		7	7	2	9	7	2	9
	EY エティハド航空				5		5	5		5
カタール	QR カタール航空		1	1		2	2	7	3	10
	7L シルクウェイ・ウエスト・エアラインズ		2	2					1	1
アゼルバイジャン										
	7L シルクウェイ・ウエスト・エアラインズ		2	2					1	1
ロシア	S7 S7航空	1		1						
韓国	KE 大韓航空	42	5	47	35	4	39	42	6	48
	OZ アシアナ航空	35	2	37	35	3	38	35	4	39
7C	チエジュ航空	48		48	49		49	51	3	54
	BX エアサン	14		14	45		45	42		42
ZE	イースター航空	14		14	14		14	14		14
	LJ ジンエア	13		13	31		31	41		41
TW	テーウェイ航空	38		38	56		56	56		56
	RS エアソウル	13		13	18		18	21		21
RF	エアロK				14		14	14		14
	CA 中国国際航空	63		63	21		21	21		21
CAO	中国国際貨運航空		6	6		3	3		7	7
	MU 中国東方航空	82		82	28		28	28		28
CK	中国貨運航空		5	5		3.5	3.5		5	5
	CZ 中国南方航空	61		61	21		21	22		22
MF	厦門航空	27		27	18		18	21		21
	FM 上海航空	7		7						
Y8	金鵬航空		5	5						
	CF 中国貨運郵政航空		10	10		18	18		28	28
ZH	深圳航空	56		56	14		14	21		21
	9C 山東航空	28		28	14	7	21	28	7	35
SC	春秋航空	69		69	28		28	29		29
	HO 上海吉祥航空	77		77	35		35	35		35
GS	天津航空	21		21	5		5	7		7
	JD 北京首都航空	4		4				2		2
BK	奥凱航空	8		8						
	SU 四川航空	14	3	17	4	3	7	7	3	10
HU	海南航空	16		16	4		4	4		4
	O3 順豊航空					1	1		6	6
GJ	長竜航空	4		4	4		4	4		4
	AQ 九元航空				2		2	3		3
CX	キャセイパシフィック航空	34	4	38	35	2	37	35	4	39
	UO 香港エクスプレス	31		31	30		30	35		35
HX	香港航空	20		20	18		18	21		21
	RH 香港貨運航空					3	3		5	5
HB	グレートベイ航空				7		7	14		14
	LD エアホンコン		6	6		5	5		6	6
NX	マカオ航空	14		14	4		4	7		7
	BR エバー航空	35	3	38	28	3	31	28	4	32
CI	チャイナ エアライン	41	13	54	28	6	34	31	7	38
	IT タイガーエア台湾	16		16	14		14	9		9
JX	スターフラックス航空				14		14	14		14
	PR フィリピン航空	21		21	12		12	14		14
SJ	セブ パシフィック航空	7		7	7		7	7		7
	Z2 フィリピン・エアアジア	7		7	10		10	7		7
VN	ベトナム航空	21		21	14		14	14		14
	VJ ベトジェットエア	14		14	18		18	21		21
TG	タイ国際航空	14		14	14		14	14		14
	XJ タイ・エアアジアX	14		14	11		11	10		10
XW	ノックアウト	6		6						
	SL タイ・ライオン・エア	5		5						
VZ	タイベトジェット				8		8	11		11
	MH マレーシア航空	7		7	7		7	7		7
D7	エアアジアX	18		18	7		7	7		7
	OD バチックエア- マレーシア				7		7	7		7
SQ	シンガポール航空	21		21	14		14	21		21
	3K ジェットスター・アジア航空	23		23				7		7
TR	スクート	10		10	7		7	7		7
	GA ガルーダ・インドネシア航空	7		7						
RA	ネパール航空	2		2						
オーストラリア	QF カンタス航空	5		5						
	JQ ジェットスター航空	7		7	6		6	9		9
ニュージーランド	NZ ニュージーランド航空	3		3						
合計	週間就航便数	1,409	144	1,553	967	164.5	1,131.5	1,086	223	1,309
	1日あたり就航便数	201.3/日	20.6/日	221.9/日	138.1/日	23.5/日	161.6/日	155.1/日	31.9/日	187.0/日
	運航会社数	64社	17社	74社	57社	18社	67社	60社	20社	70社
	就航国(地域)数	21ヶ国	21ヶ国	25ヶ国	17ヶ国	20ヶ国	23ヶ国	18ヶ国	17ヶ国	21ヶ国
	就航都市数	73都市	46都市	91都市	47都市	46都市	71都市	49都市	36都市	65都市

* 関西エアポート(株)調べのため、政府認可申請中の便や、申請前の計画便も含まれる。

* 本資料中、共同運航便(コードシェア便)は運航会社で整理。

国内定期旅客便 就航便数

地域	都市	ITAMI							KIX							KOBE									
		2019年 冬期 (実績)	2023年 夏期 (実績)	2023冬期 (計画)				2019年 冬期 (実績)	2023年 夏期 (実績)	2023冬期 (計画)					2019年 冬期 (実績)	2023年 夏期 (実績)	2023冬期 (計画)								
				計	JAL	ANA	IBEX			AMX	計	JAL	JTA	ANA			SFJ	peach	Jetstar	計	ANA	SKY	SNJ	AIRDO	FDA
北海道	札幌 (新千歳)	10	12	10	4	6		15	15	14	2		4		6	2	6	6	6	1	3		2		
	釧路							1	1																
	女満別		1																						
	函館	2	2	2	1	1																			
東北 信越	青森	6	7	7	4	3											1	1						1	
	三沢	1	1	1	1																				
	秋田	6	6	6	3	3																			
	花巻	4	4	4	4												1	1							1
	山形	3	3	3	3																				
	仙台	15	14	14	7	5	2	3	3	3					3		2	2	2		2				
	福島	4	4	4		2	2																		
	新潟	10	10	10	4	4	2	1	1	1					1			1							
	松本																1	2	2						2
関東	成田	4	2	2	1	1		6	9	8					3	5									
	羽田	30	30	30	15	15		13	12	12	3		5	4			9	8	8	2	6				
	茨城																3	3	3		3				
近畿	但馬	2	2	2	2																				
	中国 隠岐	1		1	1																				
四国	出雲	4	4	5	5												1								
	松山	12	11	11	2	9		1																	
	高知	6	6	6		6		1									2	1	1						1
	九州	福岡	10	9	10	4	5	1	5	4	4				4										
	長崎	7	8	8	4	4		1	1	1				1		3	3	3		3					
	熊本	10	11	11	4	6		1	1																
	大分	7	6	7	3	3	1																		
	宮崎	11	10	11	5	6		1	1	1				1											
	鹿児島	13	13	13	7	5	1	2	3	2				2		3	2	2		2					
	屋久島	1	1	1	1																				
	種子島		1																						
	奄美大島	1	1	1	1			1	1																
沖縄	那覇	5	6	5	2	3		13	15	13		3	4		4	2	6	8	7		4	3			
	石垣							4	4	4		1	1		2										
	宮古							1	3	2		1	1												
	下地島																1	1		1					
1日あたり 便数	(実績)	185	185	-	-	-	-	70	73	-	-	-	-	-	-	36	39	-	-	-	-	-	-	-	-
	(計画)	185	185	185	88	87	9	66	72	65	5	5	15	4	27	9	36	37	37	3	24	3	2	5	
就航都市数		26	27	26	24	18	6	1	17	14	12	2	3	5	1	10	3	10	13	12	2	8	1	1	4

※臨時便・チャーター便を除く。

※各期のピーク時点を記載。(23Wのピークは11月。判明のみ記載)

■大阪国際空港 就航会社…日本航空 (JAL)、全日本空輸 (ANA)、アイベックスエアラインズ (IBEX)、天草エアライン (AMX)

■関西国際空港 就航会社…日本航空 (JAL)、日本トランスオーシャン航空 (JTA)、全日本空輸 (ANA)、スターフライヤー (SFJ)、ピーチ・アビエーション (APJ)、ジェットスター・ジャパン (JJP)

■神戸空港 就航会社…全日本空輸 (ANA)、スカイマーク (SKY)、ソラドエア (SNJ)、AIRDO (ADO)、フジリウムエアラインズ (FDA)



関西エアポート株式会社は、オリックス株式会社と VINCI Airports（ヴァンシ・エアポート）を中核とするコンソーシアムにより設立されました。関西国際空港（KIX）および大阪国際空港（ITAMI）の運営を新関西国際空港株式会社から引継ぎ、2016年4月1日より両空港の運営会社として事業を開始しています。

また、2018年4月1日からは関西エアポート株式会社の100%出資会社である関西エアポート神戸株式会社が、神戸空港（KOBE）の運営を神戸市から引継ぎ、事業を開始しました。

“One 関西エアポートグループ”として、空港の安全とセキュリティを最優先に、適切な投資と効率的な運営によって国内外からの空港利用者へのサービスを強化してまいります。また、関西3空港の可能性を最大限に引き出し、地域コミュニティへの貢献につなげてまいります。

詳しくは、関西エアポートグループホームページ: www.kansai-airports.co.jp/ をご参照ください。

関西エアポート株式会社（関西国際空港および大阪国際空港の運営）

本社	大阪府泉佐野市泉州空港北1番地 大阪市西区西本町一丁目4番1号（登記上）	株主	オリックス 40%、 ヴァンシ・エアポート 40%、 その他の出資者 20% ¹
代表者	代表取締役社長 CEO 山谷 佳之 代表取締役副社長 Co-CEO ブノア・リュロ		
事業内容	関西国際空港および大阪国際空港の運営業務、管理受託業務等		

関西エアポート神戸株式会社（神戸空港の運営）

本社	兵庫県神戸市中央区神戸空港1番	株主	関西エアポート株式会社 100%
代表者	代表取締役社長 CEO 山谷 佳之 代表取締役副社長 Co-CEO ブノア・リュロ		
事業内容	神戸空港の運営、維持管理業務等		



オリックスグループについて

オリックスは常に新しいビジネスを追求し、先進的な商品・サービスを提供する金融サービスグループです。

1964年にリース事業からスタートして隣接分野に進出し、現在では法人金融、産業/ICT 機器、環境エネルギー、自動車関連、不動産関連、事業投資・コンサルティング、銀行、生命保険など多角的に事業を展開しています。また、1971年の香港進出を皮切りに世界約30カ国・地域に拠点を設け、グローバルに活動しています。

今後も、常に新しい価値を創造する強みと専門性を生かし、〈オリックス〉という完成形のない独自のビジネスモデルを基に、企業や人々に活力をもたらす企業活動を通じて社会に貢献してまいります。

詳細は <https://www.orix.co.jp/grp/> をご覧ください。



世界有数の空港運営事業者であるヴァンシ・エアポートは、13か国において70以上の空港を運営しています。総合インテグレーターとしてのノウハウを駆使して空港の開発、資金調達、建設、運営を行うとともに、その投資能力と専門知識を活かした空港運営の最適化、施設改修、環境経営推進に取り組んでいます。

ネットワーク全体で2050年までに温室効果ガスの排出量を実質ゼロにするため、2016年から他の空港運営事業者に先駆けて国際的な環境戦略を展開しています。

詳細は www.vinci-airports.com をご覧ください。

¹ 株式会社アシックス、岩谷産業株式会社、大阪瓦斯株式会社、株式会社大林組、オムロン株式会社、関西電力株式会社、近鉄グループホールディングス株式会社、京阪ホールディングス株式会社、サントリーホールディングス株式会社、株式会社JT B、積水ハウス株式会社、ダイキン工業株式会社、大和ハウス工業株式会社、株式会社竹中工務店、南海電気鉄道株式会社、西日本電信電話株式会社、パナソニックホールディングス株式会社、阪急阪神ホールディングス株式会社、レンゴー株式会社、株式会社池田泉州銀行、株式会社紀陽銀行、株式会社京都銀行、株式会社滋賀銀行、株式会社南都銀行、日本生命保険相互会社、株式会社みずほ銀行、三井住友信託銀行株式会社、株式会社三菱UFJ銀行、株式会社りそな銀行、株式会社民間資金等活用事業推進機構

2023年度 利用状況（4月-9月）及び 2023年 冬期スケジュールについて

2023.10.25



Shaping a New Journey



目次

 **2023年度 利用状況 (4月-9月)**

 **2023年冬期スケジュールについて**

 **質疑応答**

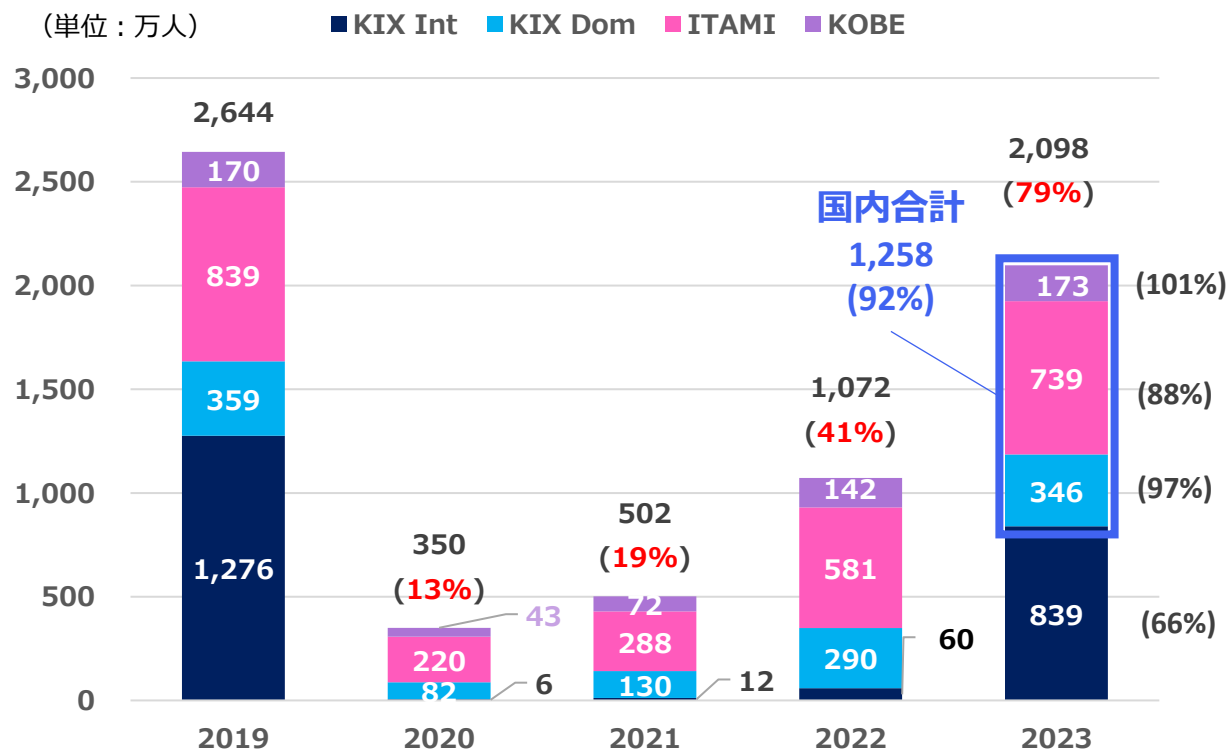


2023年度 利用状況（4月-9月）

3空港 旅客数利用実績（2023年度上期 4-9月）

2023年度上期の3空港合計の総旅客数は2,098万人（2019年比 79%）

4-9月累計 旅客数実績



* ()内の数値は2019年比を表示。

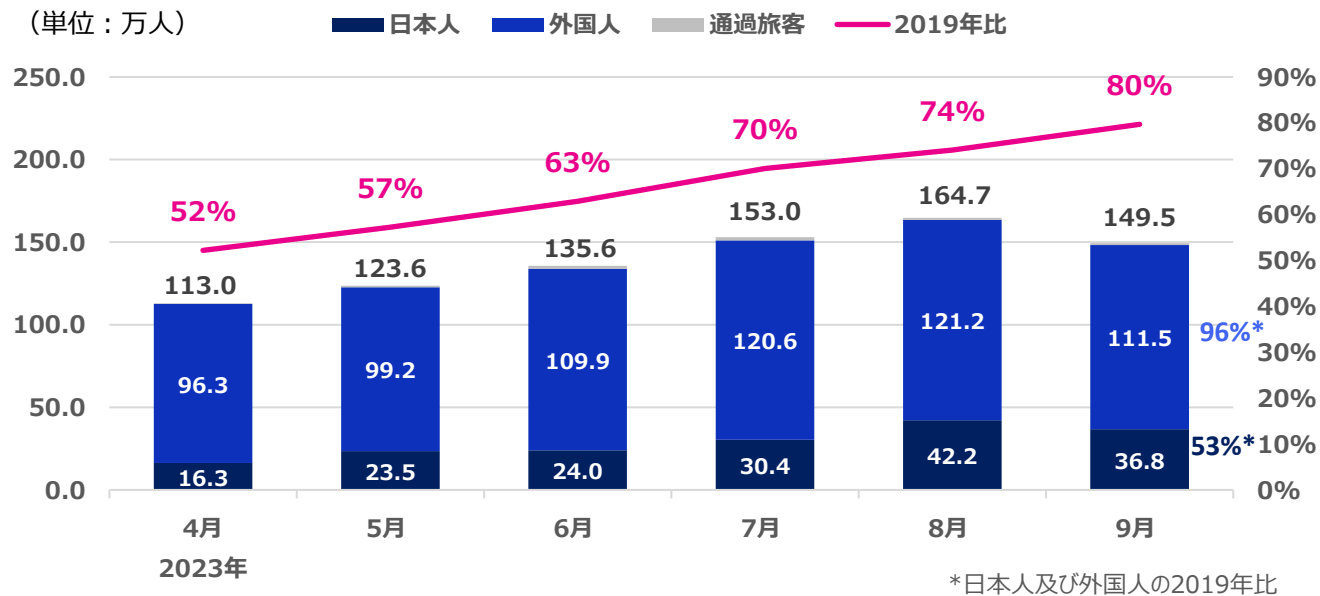
- ✈ 国際線・国内線ともに大幅に回復。要因は下記2点：
 - ✈ 5月8日に新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが2類から5類に引き下げ
 - ✈ 4月29日に中国便に対する制限を含めた水際措置が終了
- ✈ 国際線旅客数は、主に東アジア及び東南アジアからの外国人インバウンド旅客に牽引され、839万人（2019年比 66%）まで回復。
- ✈ 国内線旅客数は、1,258万人（2019年比 92%）と大幅に回復。
- ✈ 2023年度上期における神戸空港の旅客数は173万人と、開港以来過去最高を記録。（これまでの過去最高は2019年の170万人。）

KIX国際線旅客数（2023年度上期 4-9月）

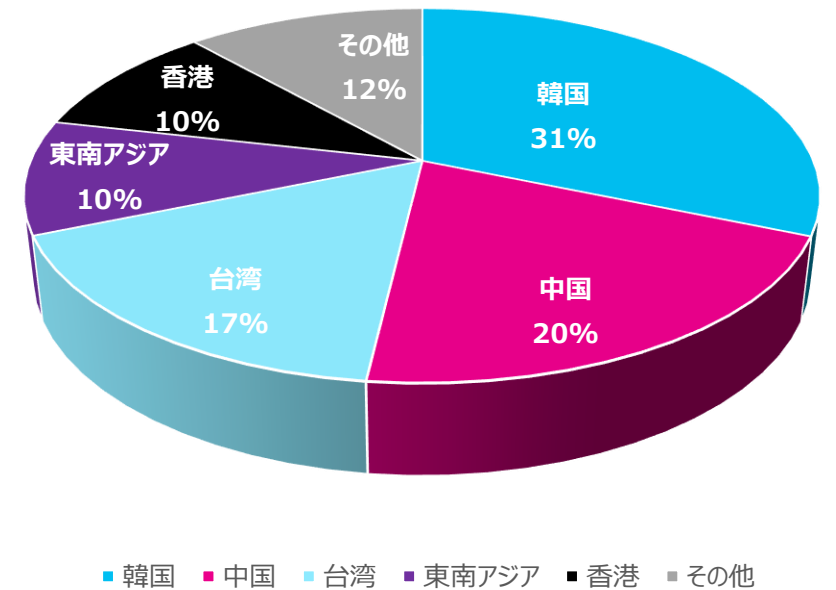
外国人旅客を中心に回復

- ✦ インバウンド（外国人）は円安の影響もあり、9月は96%まで回復。
- ✦ 韓国がインバウンド全体の31%と多くのシェア占め、中国を除くその他のアジア方面が全体の37%を占める。
- ✦ アウトバウンド（日本人）は新型コロナウイルスの分類の引き下げにより、4月から倍以上に増加し、9月は53%まで回復。

国際線 日本人/外国人/通過旅客数 2023年度上期推移



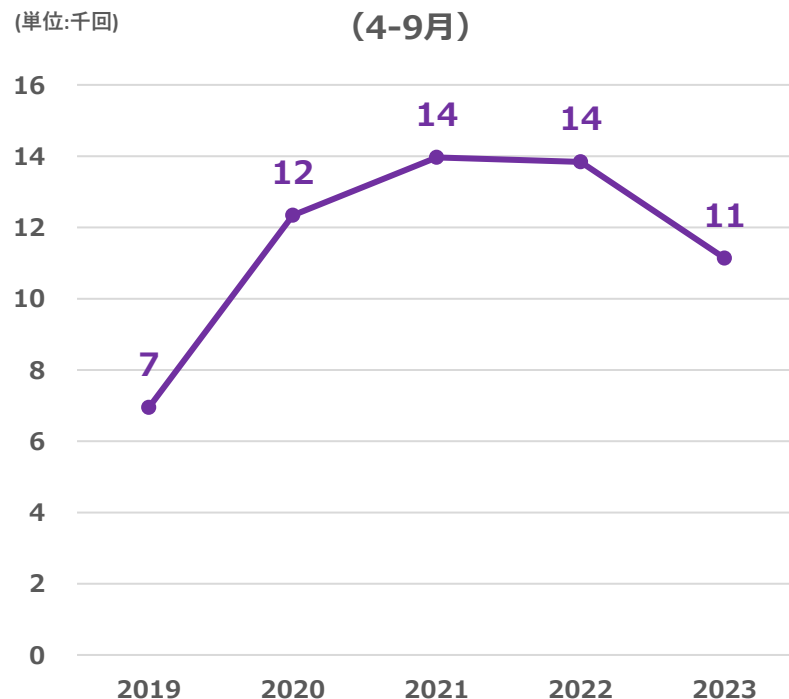
国際線 外国人国籍別内訳 2023年7月



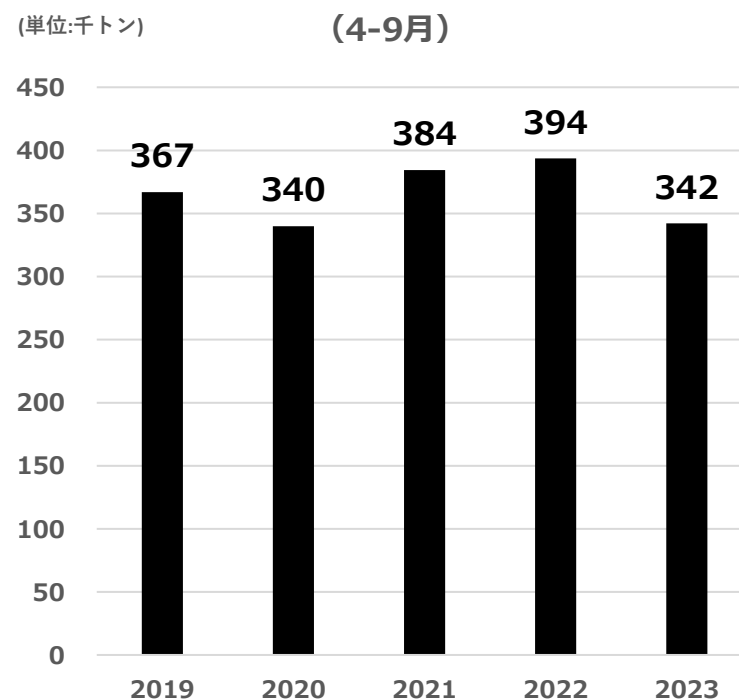
KIX国際線貨物実績（2023年度上期 4-9月）

KIXの国際線貨物便数は約1万1千回、2019年比で高水準を維持

過去5か年における国際線貨物便数推移



過去5か年における国際線貨物取扱量推移



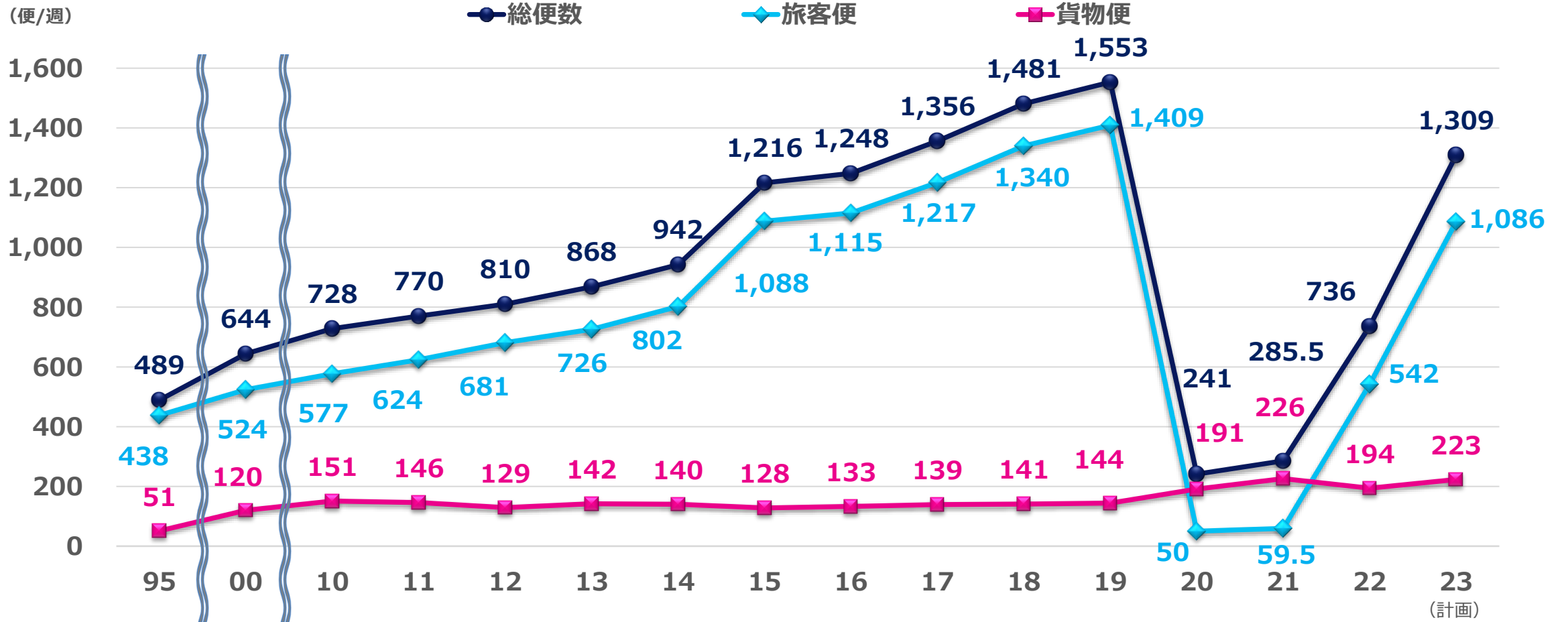
- ✈ 国際線貨物便数は、1万1千回（2019年比160%）と高水準を維持。
- ✈ 一方、旅客便の復便に伴うベリーカーゴスペースの増加に伴い、昨年比では減少傾向。
- ✈ 国際線貨物取扱量は、非常に好調であった前年同期間と比較すると13%の減。
- ✈ 世界の他地域と同様に、国際線貨物取扱量は下記の事由により減少：
 - ✈ 海上輸送容量の回復
 - ✈ 輸送コストの高騰（原油価格の高騰）
 - ✈ 世界的な物価高騰による消費の低迷



2023年冬期スケジュールについて

関西国際空港における 2023年冬期スケジュール国際定期便 就航便数

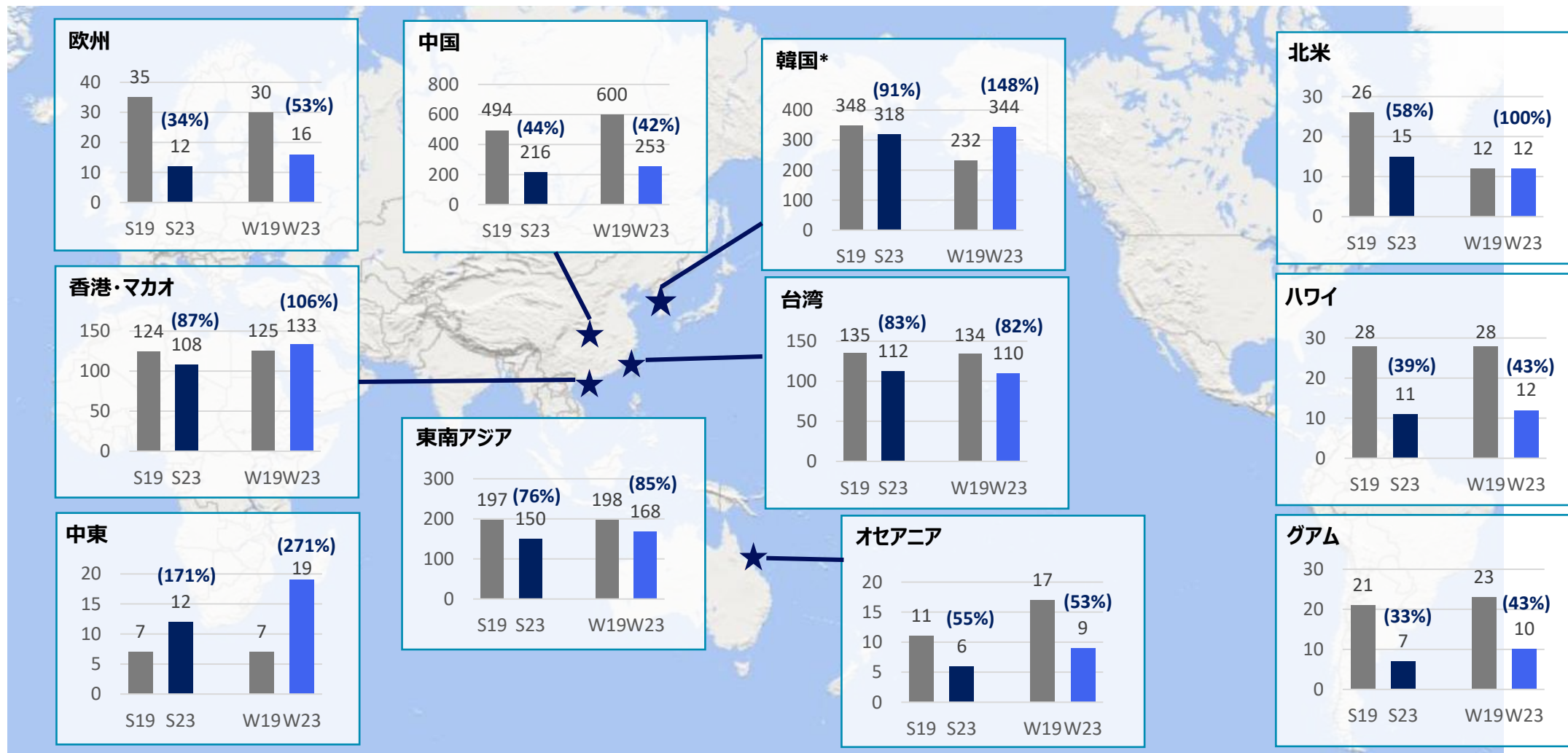
冬期スケジュール



国際旅客定期便 2023年冬期スケジュール想定便数

・ S23 は2023年夏期スケジュール直近の便数（2023年10月8日-10月14日）
 ・ W23 は2023年冬期スケジュールの3月の計画便数
 ・ グラフ中 ()内の数値は2019年夏期/冬期スケジュールとの同期比較の便数の回復率

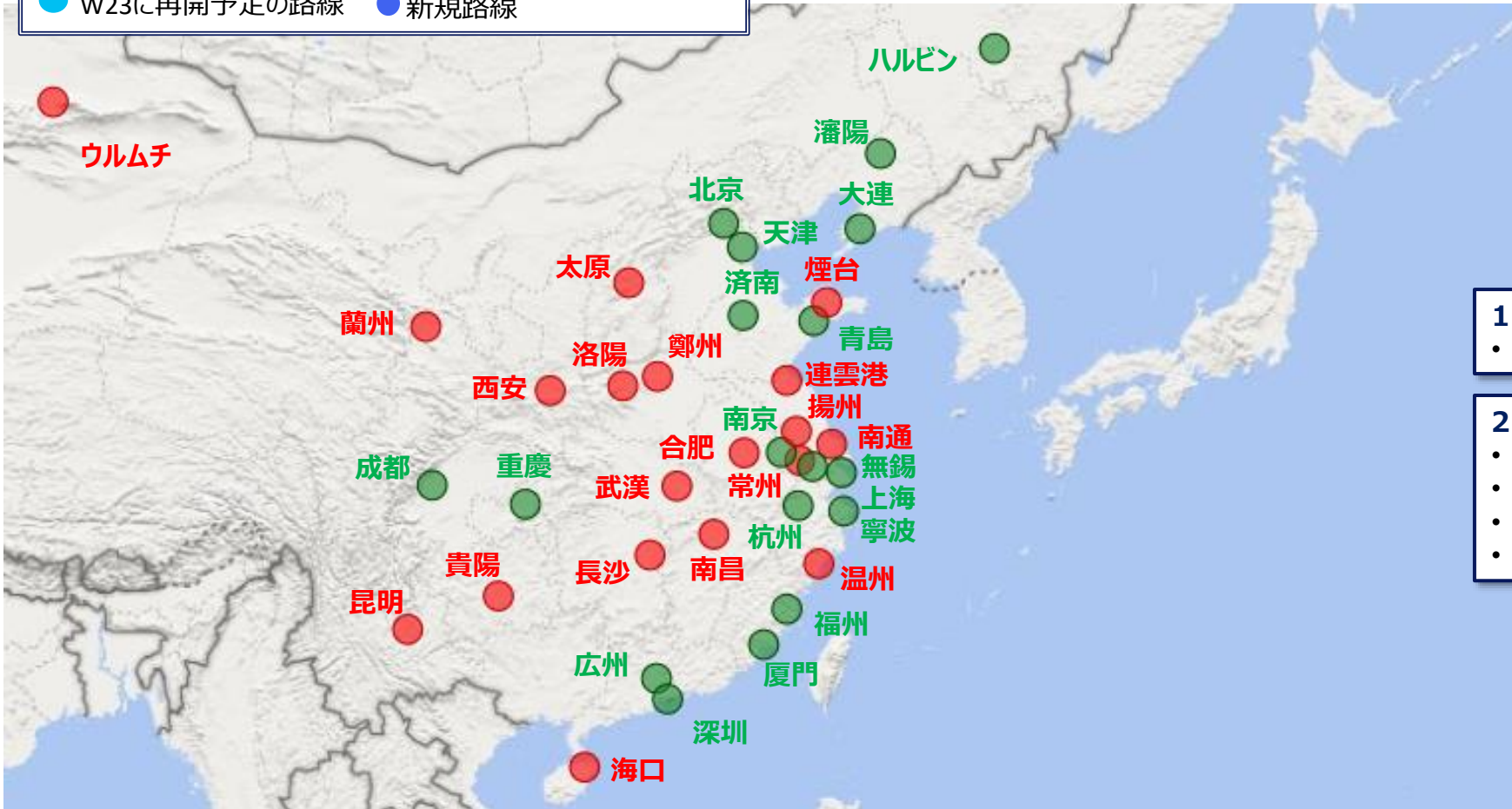
W23 : **1,086便** (W19比回復率**77%** / 中国除く**103%**) S23 : 967便 (S19比回復率67% / 中国除く80%)



旅客便 国際線 航空会社の就航見通し (アジア地域①)

2019年冬期比較

- 既に再開している路線
- 再開が予定されていない路線
- W23に再開予定の路線
- 新規路線



1. 新規航空会社

- 該当なし

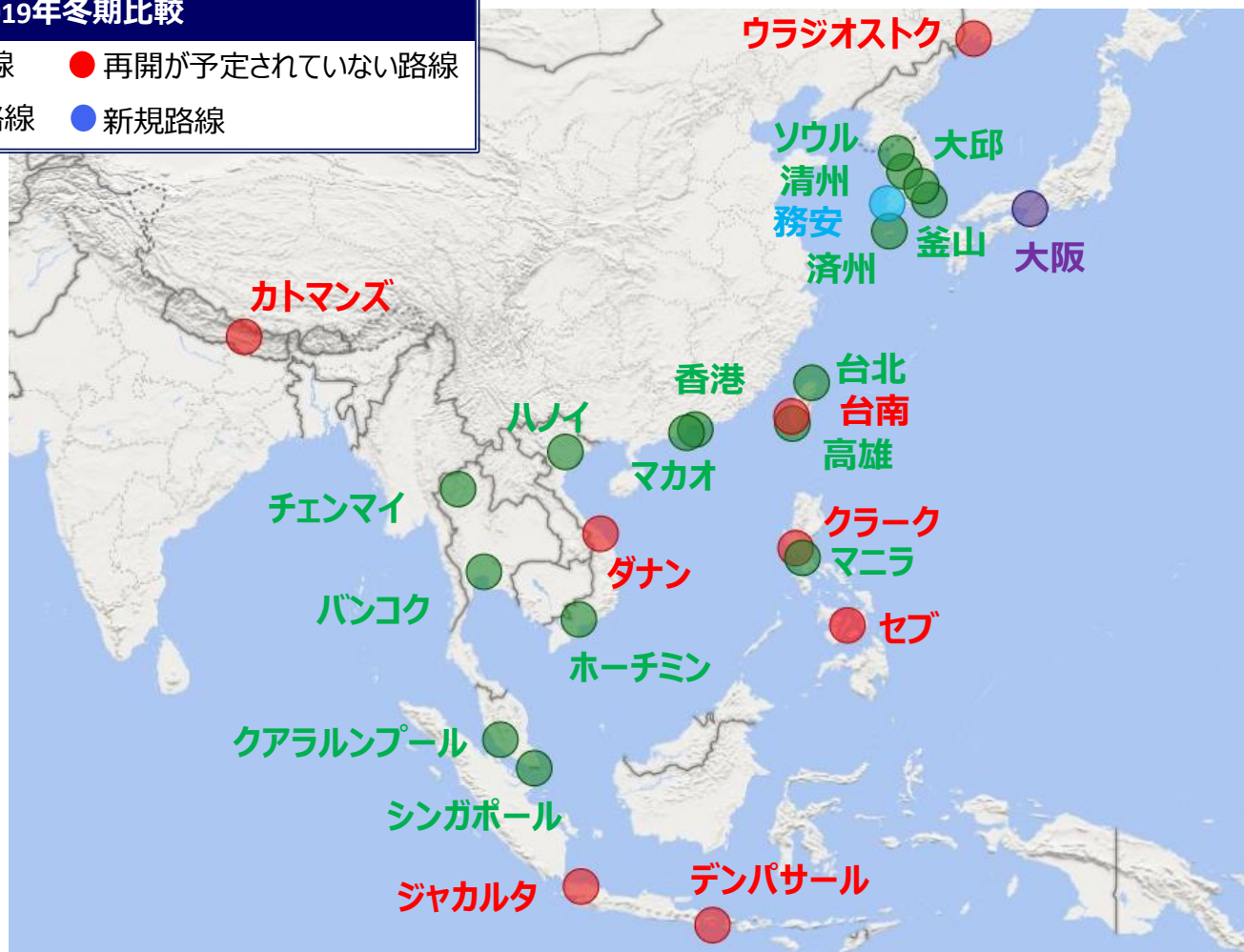
2. 既存航空会社による新規路線

- 中国南方航空 - 北京大興 (23夏運航開始)
- 上海吉祥航空 - 北京大興 (23夏運航開始)
- 厦門航空 - 重慶 (23夏運航開始)
- 深圳航空 - 南京




旅客便 国際線 航空会社の就航見通し (アジア地域②)

2019年冬期比較

- 既に再開している路線
- 再開が予定されていない路線
- W23に再開予定の路線
- 新規路線



1. 新規航空会社

- グレーターベイ航空 - 香港 (23夏運航開始) 
- エアロK - 清州 (23夏運航開始) 
- タイベトジェット - バンコク 台北経由 (23夏運航開始) 

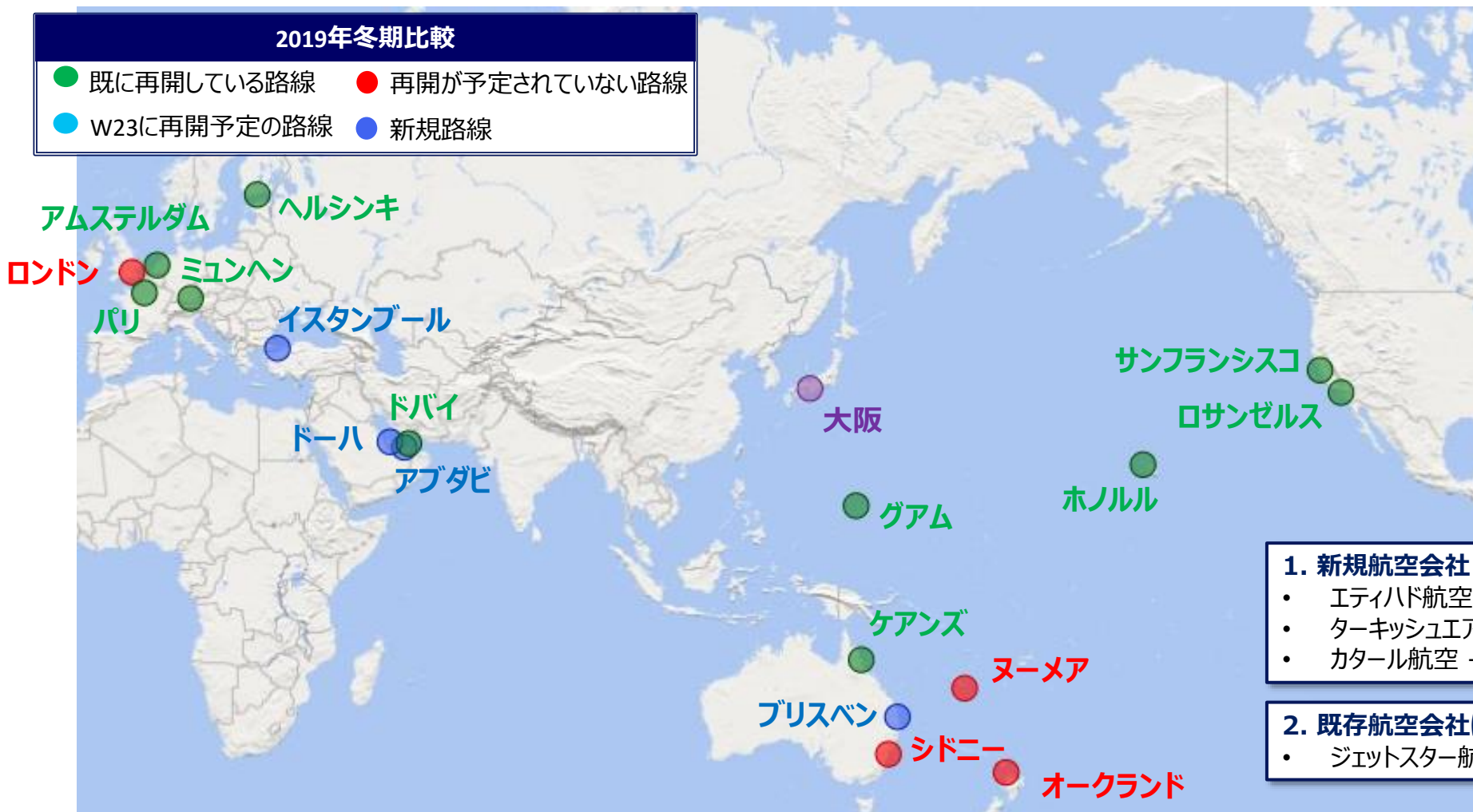
2. 既存航空会社による新規路線




- 該当なし

旅客便 国際線 航空会社の就航見通し (ヨーロッパ・中東・北米・オセアニア)

2019年冬期比較

- 既に再開している路線
- 再開が予定されていない路線
- W23に再開予定の路線
- 新規路線



- ### 1. 新規航空会社
- エティハド航空 - アブダビ (10月運航開始) 
 - ターキッシュエアラインズ - イスタンブール (2017年以降の運航) 
 - カタール航空 - ドーハ (2016年以降の運航) 

- ### 2. 既存航空会社による新規路線
- ジェットスター航空 - ブリスベン (2008年以降の運航) 

国際線旅客便 ネットワーク拡大状況 (2023年4月～)

中国南方航空 2023/4/9～
関西＝北京大興
中国南方航空としては
初就航路線



上海吉祥航空 2023/7/1～
関西＝北京大興
上海吉祥航空としては
初就航路線



厦門航空 2023/8/5～
関西＝重慶
厦門航空としては
初就航路線



エティハド航空
2023/10/2～
関西＝アブダビ
KIX初就航



ターキッシュ エアラインズ
2023/12/12～
関西＝イスタンブール
約7年ぶりの就航



ジェットスター航空
2024/2/2～
関西＝ブリスベン
約15年ぶりの就航



グレーターベイ航空
2023/4/28～
関西＝香港
KIX初就航



エアロK航空 2023/7/6～
関西＝清州
エアロK航空として
KIXは初の国際線就航地



タイベトジェット
2023/9/27～
関西＝台北＝バンコク
タイベトジェットとしては
初就航路線



チエジュ航空 2023/12/1～
関西＝務安
運航再開



深圳航空
2023/12/23～
関西＝南京
深圳航空としては
初就航路線



カタール航空 2024/3/1～
関西＝ドーハ
約8年ぶりの就航





質疑応答